

## 国立大学法人 豊橋技術科学大学

### (審査・評価委員の所見)

- ・長岡技術科学大学と並んで、高専のネットワークのハブとなっていることは高く評価できる。ただ、中京圏の大学ネットワークとの関連も重要ではないかと思慮する。
- ・自治体からの大型プロジェクトの獲得は大きな成果。このプロジェクトの研究成果を活かし、産業界からの外部資金の獲得に結び付けていくことを期待する。
- ・スタートアップ支援、オープンラボ強化、社会実装研究のマッチングファンドや人材育成を進めている点評価できる。
- ・工程改善を実現したりリカレント教育について、地域産業界の活性化に大きく寄与するものであり期待している。
- ・共同研究等の外部資金が新法人を経ており、大学が得られる資金は少なくなっていると思われる。全体として持続的かつ効率的な取組を進められるよう留意いただきたい。
- ・地域産業育成について自治体との協力体制が深化しており、今後中小企業のイノベーション創出支援に期待する。

## 国立大学法人 東京農工大学

### (審査・評価委員の所見)

- ・農林業分野のカーボンクレジット CCUS についてのモデル構築のためのアグリフォレストリーシステムのビジョンは明確で良い。
- ・国内外への横展開が可能なGXのプロジェクトが、着実に動き出している点評価できる。オーストラリアや米国との連携により標準化を目指した活動を進める際は政府の巻き込みを積極的に仕掛けていただきたい。
- ・貴学学長のリーダーシップは一つの時代を画する存在となっている。特に食料安全保障とイノベーションを、オーストラリア等と連携して行おうとしている取り組みに注目している。
- ・民間企業との共同研究が進んでおり評価できる。多摩循環アグリフォレストリーモデルの進捗をフォローしていきたい。
- ・食料安全保障や農林業の経営力強化に結び付けられるような構想の具体化に期待する。
- ・事業費は全てが設備投資に活用されているが、今後の産学官による事業展開においては、連携体制の整備も重要な要素であり今後期待する。
- ・森林炭素貯留、バイオマス利用、バイオ資源リサイクル等、先進的な取り組みを行っており期待するが、社会実装のためには標準化を含め国家間での議論も必要となると思われる。人文系の研究者も巻きこんだ幅広い活動として進めていただくようお願いしたい。

## 国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学

### (審査・評価委員の所見)

- ・ライフサイエンス、地域連携推進室、コーディネーター増強などは目的が明確で、効果を期待する。R5年の産学連携環境整備も具体的になっておりそのまま進めてほしい。
- ・地域創成や外部資金の獲得につながる実効性あるアクションプランを、公募の上選定するなど、戦略的な取り組みが行われている点について評価できる。
- ・岐阜ライフサイエンス構想で岐阜薬科大学の移転と企業誘致を進めているが、金融機関との連携も進めながらスタートアップにも力を入れていくとのこと、今後名古屋中心のエコシステムを有効に活用いただきたい。現状ではまだ十分な基盤が整っていない状況であるが本事業を有効に活用いただきたい。
- ・今後、東海大学機構の大きな動きの中でどのような立ち位置を考えていくのかという点に注目している。おそらく、より学部教育に注力すべきだろうと考える。学部の中からもスタートアップを生み出すような先鋭的な活動をしているカナダのウオータールー大学などが参考になると思う。
- ・外部資金獲得に実績。自治体、産業界との連携も強化されつつある。
- ・県に駐在する地域展開コーディネーターを通じて、県へ施策提案を行うことにより、県の新規事業の予算化につなげ、さらなる資金獲得につながることを期待している。
- ・自治体以外にも、産業界等との連携をさらに推進し、さらなる外部資金獲得につながることを期待している。

## 国立大学法人 信州大学

### (審査・評価委員の所見)

- ・信州大学の農業技術を通じた自治体との連携の進展は一つのモデルとなりうる力を持っている。その意味で注目している。
- ・信州農 X プラットフォームが農業地域のシンクタンクとして役割を担うことを期待している。特に、分散しているキャンパスをマネジメントしながら各地域の課題解決を図り、産官学共創スキームの構築を期待する。また、COI-NEXT の新潟や北海道大学のフード拠点など、他の農業地域での取り組みも進んでいるため、うまく連携を進めていただきたい。
- ・強みである農業分野の支援体制の強化、研究強化、創業支援体制確立等、当初提案に従い実施しており、このまま進めてほしい。
- ・農 X に特化した特色ある取り組みが開花しつつある。「農」「食」の知的拠点を目指して欲しい。
- ・農業分野での地域振興を主テーマとしているが、信州大学の別の強みである材料研究も活用し幅広い地域振興を進めることを期待する。

## 国立大学法人 徳島大学

### (審査・評価委員の所見)

- ・産学官共創の基盤については、本事業により順調に整備されており評価できる。
- ・産学連携本部の強化、特定研究分野の強化、共用機器の整備、研究スペース拡充等に使用しており、効果に期待。
- ・特許政策の見直しは良いと思う。
  
- ・イスラエル工科大との連携はそもそもイスラエル工科大との連携の中身がそれほど詰まっているように感じなかった。イスラエル工科大学は、アメリカの研究大学、シリコンバレー、またニューヨークでのコーネルとの共同のキャンパスで大きな動きを見せているが、貴学との関係は話を聞く限りでは具体性が見えない。今後に期待する。
- ・イスラエルとの連携について、徳島大学が現在グローバル視点で拡大を受け入れられる体制が整っているのか、連携体制について不安が残るため今後検討して欲しい。
- ・スタートアップの取り組みに関しては、徐々にローカル企業に収束している懸念もある。グローバル展開を大きく仕掛けていく体制についても整えて欲しい。
- ・本事業の目的である「多様な外部資金の獲得」については記載がなく、どの程度の成果が現れているかが不明であり、今後に期待する。
- ・県外事務所の活動を通じた、共同研究プロジェクトの創成など地域活性化に寄与する活動に期待している。
- ・地域貢献から外部資金獲得への道筋が見えていない。また、特色を磨き上げる道筋が見えにくいため更なるブラッシュアップを期待する。

## 国立大学法人 北海道大学

(審査・評価委員の所見)

- ・非常に明確なビジョンの元、北海道の中核拠点大学としての役割を担っており、好事例。
- ・ユニバーシティアライアンスの展開に期待する。LRA のネットワークとの関係の進化を望んでいる。
- ・LRA 制度については既に運用が始まり、今後大学院と地域との連携を進めるための大学院生派遣など我が国のモデル事業となるべくさらに推進していただきたい。
- ・S-RED の設置と LRA 認定制度により、自治体との連携が強化され、今後の地域課題解決の連携基盤が構築されつつあることは評価点。
- ・関係機関・大学との連携を強化し、北海道の活性化に努めてほしい。
- ・道内 8 大学との社会連携・LRA・産学官金連携の場形成の 3 点強化について、今後の地域振興への寄与を期待している。
- ・企業との連携については、具体的な記載がなく状況が不明であるが、外部資金の獲得に向け、オープンイノベーションサロンの活動により企業との連携を強化してほしい。
- ・知的財産権拡大等、外部資金獲得に係る実績のフォローアップが必要である。

## 国立大学法人 広島大学

### (審査・評価委員の所見)

- Town & Gown 構想について、瀬戸内海経済圏での広範囲な展開を期待している。
- Town & Gown 構想、WPI 拠点設置・運営など計画通りの進捗であり今後も継続して地域を活性化させてほしい。
- 日本製鉄撤退、中小機構の事業再構築補助金産業構造転換枠の地域指定を受け、街づくりも産業構造も変革していかなければならないエリアである、呉市への Town & Gown 展開について期待している。既に、海洋 GX として尾道では水素船 hidroビンゴが運用され内航路の脱炭素化が進んだり、自動運行船の検証も広島県で進んでいる。大学が地域の中核機能を発揮し、広島全体の街づくりを進めるとともに、他地域への波及を期待したい。
- 米社の巨額の投資案件は、貴学ナノデバイス研究所の技術シーズも投資決定への一助となったと考えられ、このような強みをさらに向上させていくことが、地域活性化に資する取り組みだと思う。
- 新 OI 事業本部を設置したことにより、当該本部のミッションである外部資金獲得と地域経済の活性化に関してどのような変化があったのか効果がわかりにくい。
- 大学独自の「ひろしまファンド」によるベンチャー企業の創出は、地域の活性化に貢献するものだと思うが、ファンド原資の調達見通しについては状況がわからなかった、今後実現に向けた取組を期待する。
- 採択後に獲得した地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業等も活用し、半導体や医療分野での地域振興から中四国の地域振興の核となることも期待している。

## 国立大学法人 神戸大学

### (審査・評価委員の所見)

- ・外部資金獲得、大学発ベンチャー設立などで具体的成果、今後の目標達成に現実味がある。
- ・「大学都市神戸・地域連携プラットフォーム」が整備されることにより、地域の産学官連携の基盤が構築されることに期待している。
- ・外部資金を着実に伸ばしているとともに、産学官連携の中核となる「大学都市神戸・地域連携プラットフォーム」の創設により、さらなる外部資金の獲得に期待している。
- ・バイオ、ライフサイエンスの分野を中心に地域連携プラットフォームの整備により産学官連携による研究促進が進むことを期待する。
- ・卓越性を有する「バイオ工学」、「ライフサイエンス」、「膜工学」分野と社会科学系との連携強化を、どう成果に結びつけるのか、具体化に期待する。
- ・スタートアップ関連の GAP ファンド等の政策メニューは、関西エリアで複数動いており、本予算が単純な補助金等に使われないよう留意してほしい。
- ・対象としているスタートアップについて、とりあえず起業して KPI 達成する等の安易な取り組みにならないようクオリティを担保してほしい。
- ・ディープテック領域の目利き人材の不足が VC にもみられるため、今後グローバル拠点としてスタートアップを創出する取り組みを十分整備いただきたい。
- ・若手企業家育成や若手研究者支援について、継続した対応ができるよう進めていってほしい。
- ・貴学の今後の課題は、医療産業都市構想に立脚しながらも、関西地域の医療・創薬イノベーションとの関係をどのように作っていくかということだろう。

## 国立大学法人 弘前大学

(審査・評価委員の所見)

- ・従来からの貴学の研究のイノベーション化の動きは注目しており、今後も期待している。
- ・COI-NEXT の活動が進み、外部からの共同研究獲得資金も増大しており順調である。
- ・今後、匿名加工医療データの取引所をどのように設計していくかが重要となるため、その土台となる取り組みを本資金で進めていただきたい。
- ・大手企業も参画した共同研究講座も開設され、着実に外部資金の獲得につながっている点評価できる。
- ・リチウムやリング残渣などのGX関連では、共同研究が進められ、地域活性化に資する企業立地にも貢献している。
- ・さらなる地域活性化には、地域企業の参画を強化していく必要があり、この点についても進めてほしい。

## 国立大学法人 富山大学

### (審査・評価委員の所見)

- ・創薬、抗体開発、および CN 研究と強化分野が明確である。それに加えてコーディネーターおよび URA 増強に費用を使用しており、総じて問題ないと考える。今後も継続してほしい。
- ・研究支援体制の強化が図られているとともに、競争的資金や受託・共同研究等の外部資金の獲得に貢献しており評価できる。
- ・創薬拠点として創薬スタートアップの輩出に力を入れている点、資金調達を含め非常にハードルの高い領域ではあるが、経済安全保障上でも重要な取り組みであり、期待している。また、リサイクルアルミの拠点としての活動についても期待している。
- ・今後予定されている研究成果の技術移転・社会実装により、外部資金の獲得のさらなる増加に期待する。
- ・先端抗体医療開発センターによる抗体開発や、大学発ベンチャーで実績。GX の社会実装化での具体的成果を期待している。
- ・県との連携も進んでおり、順調な進捗である。創薬関係で特色を作ろうとしている試みも評価できる。ただし、地域のイノベーションという点では、北陸の他の大学との連携を見据えた内容も意識すべきだろう。

## 国立大学法人 島根大学

### (審査・評価委員の所見)

- ・キラリ交付金の取り組みを中心に改革を進めてきた貴学で、材料エネルギー学部という GX につながる社会システム全体の中での材料の研究領域を切り拓くビジョンは評価できる。立ち上がりは順調であるが、今後より特色を持ち、かつ、その成果が地域に還元され産業化されることを期待する。
- ・島根県と連携した「たたらプロジェクト」は着実に進捗しており、「NEXTA」の外部資金の獲得も伸びている点は評価できる。
- ・「たたら」技術に注目した新しい材料研究の方向性は一定の効果を生み出している。ただし、広島大学や愛媛大学などとの連携による瀬戸内海経済圏との関係を強化するのか、あるいは日本海に面する独自の地政学的環境に着目していくのか、どのようなビジョンを作っていくのかに関心を持っている。
- ・材料エネルギー学部の新設と教員の増強により、企業との連携が進むことを期待している。県外大手企業との共同研究は成果となって表れているが、県内産業界との連携促進が望まれる。
- ・材料エネルギー学部新設により産学連携を強化する点について、今後の予算面での持続性について留意しながら進めてほしい。